

ARK Checker® C/G - DyLight®488

従来のFITC蛍光抗体よりも退色性が改善されており、長時間、高倍率での蛍光観察や、蛍光写真の撮影を退色を気にせず実施する事が出来る検出キットです

製品内容

ARK Fluor Ab C/G- DyLight®488	: 1.7mL	[サブクラス: IgG 適用: 免疫蛍光染色法]
洗浄液	: 30 mL	
ブロッキング剤	: 4 mL	
封入剤	: 1 mL	} [使用直前にボルテックス等で十分に懸濁して使用して下さい]
陽性コントロール	: 1 mL (50 μ L/ 回)	
DAPI染色液	: 1.6mL	[2018年4月より同梱になりました]

溶液組成 : 全ての試薬が、希釈不要で直ちに使用出来る×1濃度です

保存 : 2~8°C ※凍結しないで下さい、使用時は室温に戻して使用して下さい

使用期限 : 製品ラベルに記載、抗体試薬とバッファー類の使用期限が異なる場合がありますので、ご注意ください

※ 河川水等検査の詳細は、『水道における指標菌及びクリプトスポリジウム等の検査方法について』
【健水発第0330006号通知(一部改正 平成26年3月31日健水発0331 第6号)】をご参照下さい。

使用例1

メンブレンフィルターを用いた直接染色 (15回分/キット)

-プロトコル-

- ↓ サンプルをφ25mm PTFEフィルターでろ過する
- ↓ PTFEフィルターを**洗浄液 1 mL**で洗浄する
- ↓ PTFEフィルターを**ブロッキング剤 200 μ L**で約5分間ブロッキング処理する
- ↓ PTFEフィルター上に**ARK Fluor Ab C/G - DyLight®488**を**110 μ L程度**を添加し、全体に行き渡らせる
- ↓ 湿潤箱にて、室温暗所で30分反応させる
- ↓ (必要により、反応終了5分前にDAPI染色液100 μ LをPTFEフィルター上に添加する)
- ↓ PTFEフィルターを**洗浄液 1 mL**で洗浄する
- ↓ **封入剤 10 μ L~50 μ L**程度で封入する
- ↓ 蛍光顕微鏡(B励起)で蛍光観察

※洗浄操作の際は、強く吸引しながらサンプルがフィルター外へ流出しないように注意して下さい

使用例2

ウェルスライドを用いた直接染色（30回分/キット）

-プロトコル-

- ↓ サンプルをウェルスライドに移し、乾燥させる
- ↓ エタノールもしくはメタノールを 100 μL 程度加え、乾燥させる
- ↓ **ARK Fluor Ab C/G – DyLight®488 を 50 μL 程度**を添加し、室温暗所で30分反応させる
- ↓ ピペットで、慎重にウェル上の液体を除去する
- ↓ ウェルスライドに静かに**洗浄液 300 μL** を加え、1分間静置する
- ↓ ピペットで、慎重にウェル上の液体を除去する
- ↓ （必要により、DAPI染色液 50 μL をウェルスライド上に添加し、5分間静置する）
- ↓ （ピペットで、慎重にウェル上の液体を除去する）
- ↓ （DAPI染色した場合、**洗浄液 200 μL** を加え、1分間静置後、ピペットで、慎重にウェル上の液体を除去する）
- ↓ **封入剤 10 μL ～15 μL** 程度で封入する
- ↓ 蛍光顕微鏡(B励起)で蛍光観察

参考文献

1. 八木田 健司ら, **迅速診断を目的とした抗ジアルジアモノクローナル抗体の作製**, 第80回日本寄生虫学会大会, 2011年3月
2. 泉山 信司ら, **蛍光抗体染色用の抗クリプトスポリジウムモノクローナル抗体の開発**, 第81回日本寄生虫学会大会, 2012年3月
3. 扇田 裕允ら, **国産クリプトスポリジウム検出モノクローナル抗体蛍光抗体染色試薬の評価**, 第39回日本防菌防黴学会大会, 2012年9月
4. 安富 友貴ら, **クリプトスポリジウム等検出のための新しい蛍光抗体染色試薬の評価**, 平成27年度全国会議(水道研究発表会), 2015年10月



アーク・リソース株式会社

<http://www.ark-resource.co.jp>

製品に関するお問い合わせは、
弊社CG担当までご連絡下さい。
TEL(0964)46-3773 FAX(0964)46-3743